我がまちの名工~南国市技能功労者表彰~



昨年11月22日、長年同一職業に従事し、優 れた技能を社会発展のために役立て、功績の あった技能職者を顕彰する「平成29年度南国 市技能功労者表彰式 | がグレース浜すしで行 われました。

受賞者の皆さんを紹介します(順不同)。



以秀さん(大埇甲) ●鋳造工/経歴25年●

私は、昭和48年に日産自動車輸出車両部整備課に勤務し、昭和54年 に中央研究所に配属されました。中央研究所では金属材料機械試験一 級技能士の資格を取得し、平成4年に株式会社トミナガに入社しました。 トミナガでは鋳鉄品の製造に従事し、品質保証部で鋳鉄素材の機械試 験と組織試験、また成分分析も行ってきました。

今回の受賞を機に、今後は後進の指導により一層力を尽くしていきた いと考えています。



晃吉さん(大埇甲) ●木工/経歴33年● 栗田

昭和59年に高知機型工業株式会社に入社し、多くの先輩方のご指導 を受けました。その間、楽しいことや辛いことも多くありましたが、それ も自分自身の技術と心を磨くための砥石だったと思っています。今の仕 事は、ベルマウスやプロペラボスなど主に船舶で使われている部品の木 型を造る作業です。この仕事を始めて33年になりますが、まだまだ勉強 しなければならないことが多いと思っています。今回の表彰を機に、今ま で勉強してきたことをさらに深めるとともに、お世話になった多くの方々 への御恩返しになるよう、さらに頑張っていきたいと思います。



さかえだ

俊二さん(上末松) ●製缶工/経歴37年●

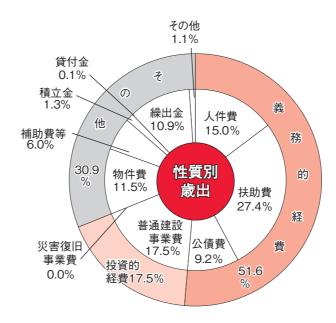
昭和55年4月に入社して株式会社垣内一筋で頑張り、はや37年が経過しました。 入社後は、国内はもとより、世界30数か国で防災、災害復旧、新しい国土づくりな どに多大な貢献を行っています株式会社技研製作所様の「サイレントパイラー」の 品質確保、性能向上に不可欠な仕上げや塗装・組立作業などを中心に頑張ってきま した。ここまで元気で働くことができましたのは、職場の同僚、上司の皆様、取引先 の方々に力強く支えられてきたお陰であり、皆様に励まされながら、今日この日ま で充実した仕事に専念することができました。今後も垣内の発展に歩調を合わせな がら、自分自身の技術が向上し、会社に一層貢献できますよう頑張ります。

平成28年度の 決算報告

|市 の 家 計 簿

性質別歳出の内訳

217億4.710万2千円



義務的経費				112億1,694万 円
	人	件	費	32億5,116万8千円
	扶	助	費	59億6,914万2千円
	公	債	費	19億9,663万 円
投資的経費				38億 980万5千円
	普通	通建設事	業費	38億 284万5千円
	災害	復旧事業	養	696万 円
その他				67億2,035万7千円
	物	件	費	24億9,374万8千円
	補	助費	等	13億 291万4千円
	積	1/	金	2億8,611万9千円
	貸	付	金	3,472万 円
	繰	出	金	23億6,629万8千円
	そ	の	他	2億3,655万8千円
計				217億4,710万2千円

1人当たりが納めた市税

125,182円

たばこ税

8,689円

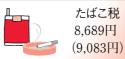
(122,783円)



固定資産税 59,798円 (59,791円)



市民税 53,122円 (50,892円)





軽自動車税 3,524円 (2.964円)

その他 49円 (53円)

平成29年3月31日現在の人口47,766人で計算したものです。 *()内は平成27年度の金額です。

知って得する国民年金

国民年金保険料の納付期限は、 翌月の末日です。 忘れず納めましょう。

◆ご自身の年金はいつでもどこでも「ねんきんネット」で確認できます!

「ねんきんネット」は、インターネットを通じてご自身の年金の情報を手軽に確認で きるサービスです。24時間いつでもどこでも、パソコンやスマートフォンからご自身の 年金情報を確認できます!!

「ねんきんネット」で出来ること

- ①ご自身の年金記録の確認
- ②将来の年金見込額の確認
- ③電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- ④ 日本年金機構から郵送された各種通知書の確認…など ※スマートフォン版「ねんきんネット」では、①②のみ利用可能



ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル TEL 0570-058-555 (ナビダイヤル)

電話番号が050で始まる電話からおかけになる場合は、03-6700-1144(一般電話)へ。 受付時間【月~金】9:00~19:00【第2土曜】9:00~17:00 日曜・祝日・土曜(第2を除く)。12月29日から1月3日はご利用いただけません。

広報なんこく2月号 5 4 広報なんこく2月号